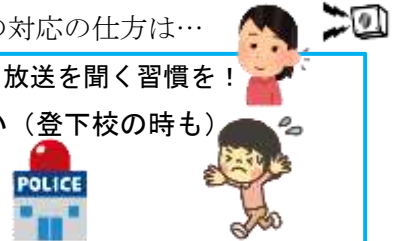


## 「いかのおすし」不審者から身を守る時の合言葉です

本校では、火災や地震といったもしも…の時に自分の身を守るためにどう対応すればいいかを考えるために避難訓練を行っています。9月21日に行ったのは不審者への対応を想定した避難訓練でした。子どもたちには、この日に行うということは知らせてありました。それまでに、各学級で事前指導を済ませてありましたが、訓練と言えども自分のいのちを守るためのものであることから「真剣に」参加してほしいこと、もしもの場合の対応の仕方を覚えてほしいと伝えてありました。その対応の仕方は…

- ① 放送が始まったら、立ち止まっておしゃべりをやめて話を聞く！日頃から放送を聞く習慣を！
- ② 指示を聞いて、落ち着いて行動する
- ③ できるだけ一人にならない（登下校の時も）
- ④ 名前入りのものは、外から見えないようにする
- ⑤ 何かあったら、近くの家や学校にかけこむ ⇒ すぐに警察に連絡を！



今回の避難訓練には、中央警察署からお二人においでいただきました。不審者役をされた警察官の方からは、先生方の対応についてもアドバイスをしてもらいました。授業中、正門から入って校舎に向かっている人（警察官）の不審な様子に気付いた先生が、怪しい？と思って声をかけ、止まってもらうように促しますが、それを振り切って先に進んだことから、近くの教室の先生に知らせる…といった流れでした。

報告を受けた教頭先生からすぐさま全校放送で、不審者が入ってきたことを知らせる合図の言葉が伝えられました。それを聞き、校舎や教室に入ると来られないように鍵を閉めたり、さすまたを持って不審者の近くに行ったりと、先生たちもそれぞれに担っている役割を果たそうとすぐに動きました。その後、安全が確認できたところで、体育館に移動を促す放送がありました。



担任の先生の先導で、静かに集まった子どもたちに向けて、警察官の方から話をいただきました。知らない人から道案内を頼まれたり、お菓子をあげると誘われたりしても、絶対についていけないようにすること、おかしいな、怪しいなと思う場面に出あっても、自分たちでどうにかしようと思うのではなく、その場から離れる、大人に知らせるようにすることが大事だと話がありました。避難の合言葉



### 「いかのおすし」

は、子どもたちにも浸透していますが、もしもの時にはこれを守って行



動することが大切です。また、いざという時には大きな声が出せないことがあるので、防犯ブザーの所持を勧められました。手に届きすぐに引っ張れるところにつけておくこと、定期的に電池や音がなるかの確認が必要とも話されました。「いのちがないと学校は楽しめませんよ」というメッセージで締めくくられました。声かけ事案など怖い目にあったら、対応は少しでも早い方がいいので、すぐに警察に連絡するようにしてください。

